

令和7年度 大和町立小野小学校 学校経営グランドデザイン（全体構想図）

【学校教育目標】 心豊かで、自ら学ぶ、心身ともにたくましい 児童の育成
～明るく・賢く・強く生きる子供～

○目指す児童像

- ・ 明るく生きる子供（徳育）〈もみじのように明るく〉
- ・ 賢く生きる子供（知育）〈水芭蕉のように賢く〉
- ・ 強く生きる子供（体育）〈セツ森のように強く〉

○目指す学校像

子供が行きたくなる学校 保護者が通わせたい学校 教職員が勤務したくなる学校
〈学びがいの創造〉 〈学校の魅力・よりよい連携の創造〉 〈働きがいの創造〉

○本年度努力事項

令和7年度（2025年度）の重点努力事項 「子供の命を守ること 育むこと」

- 1 日々の授業の充実
 - ・ 校内研究及びテーマをもった自主研修の推進
 - ・ 一部教科担任制の継続と学年チーム担任制の試行
 - ・ 授業と連動した効果的な家庭学習の推進
- 2 礼儀作法教育の推進
 - ・ 礼儀作法虎の巻による共通理解と指導の徹底
 - ・ 「あいさつ・返事・靴そろえ」の通年指導（定期的な評価と励まし）
- 3 児童の主体性を引き出す活動の推進
 - ・ 学校行事や児童会活動等での自己決定、自発的提案
- 4 思いやりの育成、いじめ防止に向けた取組の強化
 - ・ 温かい学級（学年）経営 ・ 児童会による啓発と実践
- 5 感染症や熱中症等に留意した生活様式の継続
- 6 特別な配慮を要する児童への支援・指導の充実
 - ・ 特別支援コーディネーターを中心とした組織的な対応
 - ・ SSW、SC、めーぶる TAIWA、関係機関との連携強化
- 7 教職員の働き方改革の推進
 - ・ 定時退庁日、月1全校4限、教育の質を上げるための業務精選

持続可能な学校体制の構築（学びの保障）と校務の効率化

学習指導要領の趣旨

- ◎予測困難な未来社会を切り拓くための資質能力の育成
- 3つの資質能力の具体化
 - ・ 生きて働く知識・技能
 - ・ 思考力・判断力・表現力
 - ・ 学びに向かう力・人間性
- 社会に開かれた教育課程
 - ・ 学校、保護者、地域社会が目標を共有しながら連携・協働
- カリキュラムマネジメント
 - ・ 児童・地域の実態把握
 - ・ 教科横断的な視点
- 授業改善
 - ・ 主体的・対話的で深い学び
 - ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 発達の段階を踏まえた支援
 - ・ 学年や個人毎の発達に配慮

大和町立学校として ～分かる授業づくりとiチェックの活用～

- 教職員・児童の事故、いじめ見逃し「0」 〈安心・安全〉
- 新規不登校、支援の必要な児童への対応の遅れ「0」 〈教育機会の確保〉
- 児童の学力低下「0」（「教えるプロ」から「学びを導くプロ」へ） 〈学力保障〉
- 学校が楽しい「100%」 〈魅力ある学校〉

大切にしたい4つの力

- 人を大切にする力
- 自分の考えをもつ力
- 自分を表現する力
- チャレンジする力